



令和 8 年度
学校だより
7 月号

自ら輝く ときわの子
～一人ひとりが輝く存在に～
互いに学び合い
自分らしさを発揮する子の
育成を目指します

令和 8 年 6 月 30 日
横浜市立常盤台小学校
TEL 331-4808
FAX 331-5429

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/tokiwadai/>



「 尊重され幸せに生きる 」

校長 新川 浩一

5年生の御殿場宿泊体験学習、4年生の上郷宿泊体験学習が無事に終わり、6年生は日光修学旅行から昨日戻ってきました。校内では水泳学習も始まり、子ども達はこの時期でないと味わえない様々な活動に参加し、そして成長しています。

さて、本校では「人権教育」を教育の柱の一つとして位置付け、日々の教育に取り組んでいます。人権とは、誰もが生まれながらにして持っている「人として尊重され、幸せに生きる権利」です。この考え方は決して特別なものではなく、学校生活のさまざまな場面の中で大切にされるべき基本的な価値です。

子どもたちは、日々の生活の中で友達と関わりながら多くのことを学んでいます。その中には、相手の気持ちに気付くこと、自分の思いを適切に伝えること、違いを認め合うことなど、人として成長するために欠かせない学びが含まれています。しかしながら、ときには言葉や行動によって誰かを傷つけてしまうこともあります。そのようなときこそ、自分の行動を振り返り、「相手を大切にするとはどういうことか」を考える機会にしていくことが大切だと思います。

6月には、全学年で人権擁護員による人権キャラバン（人権学習）が実施されました。子どもの発達段階や実態に寄り添った内容で学習は進められ、子ども達は自分事として人権を捉え、自らの生活を振り返り、そしてこうありたいという願いを一人ひとり抱いていました。最終回となった6年生の授業では「リスペクト アザース」という題材が取り上げられましたが、登場人物の思いに寄り添いながら誰もが真剣に学習を進めていました。主人公が語った「リスペクト アザースは自分の心の中から生まれるんだ。」という言葉聞いた子ども達の瞳から、確かな輝きを私は感じました。

6月22日（木）には、保土ヶ谷区スピーチコンテストが開催され、学校代表児童は心からの思いと願い、また自分自身の生き方を力強く語りました。内容はまさに人権に関わるものでした。

これからも、本校では授業や学級活動、学校行事等を通して、互いの違いを尊重し、支え合う心を育む教育を進めています。



6月12日（金）より、5週にわたり本校の学校紹介を「すぐーる」にて配信しています。育てたい子どもの姿、また本校で大切にしたい教育活動（重点取組項目）など、常小のことを知っていただく機会になればと思っております。是非ご覧ください。